



五福校

7月21日(金曜日)

発行 熊本市立五福小学校
発行責任 校長 小田浩之
〒860-0041
熊本市中央区細工町2-25

実り多い夏休みを

自学と家読(うちどく)のすすめ

いよいよ夏休みを迎えます。今年度の夏休みは、7月22日から8月28日までの38日間となります。長期の休みとなりますので、健康管理に気をつけ、有意義な時間を過ごして欲しいと願っています。

学力テストから

ところで、昨年度の学力テストの結果見ると、とくに高学年で学習内容をよく理解している子どもと、理解不足の子どもが両極化してきている状況が見られました。理解不足の子どもの生活習慣にかかわる調査結果を見ると、学習時間の不足と読書量の少なさ、テレビ・ゲーム時間の多さなどが共通してあげられます。調査結果から、自学する習慣が十分に身につけていない子どもがいることがわかります。近年、五福小だけでなく全国的にその傾向は高くなってきているように感じます。

自学のすすめ

たとえば、平日に2時間テレビ・ゲームの時間をとっている子どもの1日をたどってみま



よう。学校から帰る時刻は高学年ともなると4時を過ぎます。友だちと遊んだりしているうちに夕飯の時間はすでにやっています。夕飯後、2時間程度テレビやゲームに興じていたら、9時近くになります。お風呂に入ったりするともう就寝時間。学習する時間も気力もなくなってしまう。これが毎日続ければ、とてつとてとららららと、学習する時間をとることができません。けれども、学習事項を十分に理解するためには、復習したり、予習したりする時間が必要です。このような状況を改善するためには、生活のなかに自学する時間を工夫して取り入れるべきです。毎日学習することが分かっていると取り組み

情報社会の歩き方

「スマホの使い方」について考える

子どもたちが自主的に学校生活の充実と向上を図るための活動に児童会活動があります。五福小学校には9の委員会があり、その一つである生活委員会が今週は、「スマホの使い方」について、お昼の放送を使って呼びかけています。

今、携帯電話やスマートフォン、インターネットのよりよい使い方についての取組が全国で広がっています。「携帯電話やスマートフォンを

子どもたちが自主的に学校生活の充実と向上を図るための活動に児童会活動があります。五福小学校には9の委員会があり、その一つである生活委員会が今週は、「スマホの使い方」について、お昼の放送を使って呼びかけています。今、携帯電話やスマートフォン、インターネットのよりよい使い方についての取組が全国で広がっています。「携帯電話やスマートフォンを

一日中はなさない子どもたちが増えている。「薄い人間関係にすがっている。」「メールや掲示板等に人の気持ちを考えない書き込みをされて事件になる。」「など、新聞やテレビで多く見られる現状があります。かつて、主なコミュニケーションの方法は、「会って話す」「電話で話す」「手紙を書く」という、人と会ったり、文章に書いたりという方法でした。そこでは上手な話し方、書き方と

ふざけ半分です。送った写真は一瞬にして世界中に広がります。送ってしまった後のことをあまり考えずに行ってしまうのです。個人情報保護ができません。また、相手の都合を考えず、勝手に相手の顔を撮ったり、返信されなければ自分と相手とのつながりをなくしてしまうような行動をとってしまうのです。そこでは、携帯電話やスマートフォンを片時も手放せなくなってしまう子どもたちの姿が見られます。徹夜でメールをしなければなら

ないという精神状態になっただけで、送ってしまったら、なんとかなんとか、子どもたちを救うことを考えなければならぬ。立ち上がっている市町村が全国に見られます。本市でも検討されています。①夜の8時には居間の充電器に携帯電話やスマートフォンを置く。②パソコンにフィルターをかけた後、居間に置くようにする。③相手の顔が見えるコミュニケーションで絆を深めていく。④自己肯定感を高めて、自分が好き、友達も好きという心を培っていく、等を各ご家庭でもお子さまとお考えください。

す。最近「家読(うちどく)」という取り組みが注目されています。子どもが読んでいる本を親や家族も読むことで共通の会話を増やし、家族のコミュニケーションを深めることが狙いだそうです。親が本を読む姿を子どもに見せていることが、子どもの読書離れの大きな原因の一つだとも言われています。「家読」を通して、子どもも親も本に親しみ、本の世界の楽しさを味わえたらいいですね。夏休みは、生活のリズムを整えて、自学の習慣をつけ、読書に親しむためには絶好の機会といえます。子どもにとっても、家族にとっても楽しい時間を共



有し、実り多い夏休みの日々をお過ごしください。なお、一学期の始業式は8月29日(火)です。

夏休み休業中における事故等の未然防止について
7月18日のプール納めで今年度の水泳の授業が終わり、その後、国内では、子どもが川に流れ死したという悲しい事故が起きています。夏休み中は、活動時間や活動場所が広がり、事故等の発生が懸念されます。学校においても指導を行いますが、各ご家庭におかれましても、不審者への対応、交通事故の防止、水難事故の防止、感染予防などについて、お子様にお伝えいただき、普段以上に注意喚起を行っていただきますようお願いいたします。

履き物を揃える

先日、休み時間に校舎内を回っていると、男の子がトイレから出てきました。その子は、自分の脱いだスリッパだけでなく、横にあったスリッパもきれいに揃えていました。いつもそういったことをしているのでしょうか、ごく自然な行動でした。「履物を揃える」といえば、永平寺の開祖である道元禪師は日々の修行の中に「履物を揃える」という行為を組み込んでいたそうです。履物を揃えることは「自分自身を見つめる」「自分の行いを振り返る」ということにつながると考えていたのでしょうか。つまり、「履物がちらかっている心」が乱れている。揃っていれば心が落ち着いている「ということ」です。ちなみに、先生がおはようといってもあいさつもしない。陸上の大会に出ても負けばかりだったという大阪市立松虫中学校陸上部は、「靴を揃えることを徹底すること」で、創部6年目にして、種目別日本一を12回も獲得するまでになりました。原田監督が語っています。履物一つでも奥が深いですね。履き物だけでなく、雑巾もきれいに揃っているクラスもありました。落ち着いた生活ができているようですね。



きれいに揃っていると気持ちがいいですね